

自然保育「ネイチャーウォーク」

初夏の森わくわくたんけん

晝間 初枝（四街道市）

日 時：2024年5月30日（木）9:30～11:00 天候：うす曇り

場 所：八千代台北こどもの森

参加者：ChaCha Children Yachiyo 5歳児26名 保育士4名

担当指導員：小川 横山 晝間

木陰を吹く風が心地よい絶好の探検日和。木の葉が色濃くなる初夏の八千代台北こどもの森で「葉っぱ」をテーマとした3つの自然遊びを展開しました。保育園から歩いて25分、年長組のかわいい5歳児たちが到着すると、森は一気に明るくなりました。挨拶をした後、みんなで体操、続いて紙芝居「きりかぶのたんじょうび」、いよいよ森遊びの始まりです。

遊び1:「じゃんけん落ち葉拾い」

二人でじゃんけん、勝ったら葉っぱが拾える。次々と相手を変えてじゃんけん…。簡単で楽しい雰囲気づくりにぴったりの遊び。拾った葉っぱを数えた後、もとに戻して葉っぱ探検に出発です。

遊び2:葉っぱ合わせ

葉っぱカードを首からかけて探検開始！イチョウの葉は切れ込みがあるもの、ないものがあることに気づいた子どもたちは次々と葉っぱを拾ってきました。葉っぱをひっかけて引っ張りっこで遊んでところで「葉っぱ図鑑」を見せながらイチョウについて説明する先生、私たちスタッフと連携しながら、次々と葉っぱ合わせをしていきました。サクラの葉っぱは、「少しツルツルして周りはギザギザ、黒いぽつぽつ（蜜腺）が2つあるよ。」子どもたちの観察力や感性の豊かさに感心しました。モミジはプロペラのような実を見つけて「飛ぶ、飛ばない」で意見がわかれ秋にまた観察することになりました。クマシデの細長い葉っぱの葉脈とふくらとした鈴なりの実、クヌギのとげとげした葉とドングリの赤ちゃん、見つけた葉っぱを五感で確かめながら、カードと合わせていきました。クワは葉っぱの形よりも熟し始めた実を見つけて「おいしそう、食べたい!」、思わず手が出そうな子どもたちに「おうちの人と遊びに来たときね。」と先生。隣にあるビワもまた実がびっしり、こちらは青みがあるので実より大きくてかたい葉っぱを触ってみることにしました。オオヒラタシデムシやダンゴムシ、じかきむしやハムシに食べられた葉っぱなど興味が尽きない子どもたちと森を一巡り、あっという間に時間が過ぎていきました。

遊び3:葉っぱの色ぬり

「葉っぱで色がつけられるよ」と近くから採ってきた草で葉っぱの絵をこするとあっという間に緑の葉になりました。こするのが楽しくてタンポポやカタバミの花を摘んではこするの繰り返し…。最後は葉っぱの中の緑の粒々のお仕事のお話です。「緑の葉っぱってすごいね。」「大切なお仕事をしているね。」初夏の森で葉っぱとのふれあいを楽しみました。



元気いっぱい体操



葉っぱの色ぬり楽しいね